金沢市立 野田中学校
かなざわしりつ のだちゅうがっこう

令和８年１１月６日　　No. ６

ひまわりのこころ

ひまわり祭「絆」から得た”絆”

１０月２６日（月）金沢歌劇座にて行われたひまわり祭「絆」は台風の影響によって予定を変更しながらも、歌劇座全体が大きな感動に包まれ、終えることができました。１０月上旬から中旬にかけてはインフルエンザが猛威をふるい、２年生が学年閉鎖になることもありました。リハーサルや本番までの音楽の授業、昼休みや放課後練習等ではなかなかうまくいかないこともあったでしょう。プレッシャーに押しつぶされそうになったこともあったでしょう。それでも練習を通して徐々にクラスの絆が深まり、クラス全体の力が増して、広いホールで発表したことはかけがえのない宝物になったと思います。最優秀賞、優秀賞を獲得したクラス、最優秀指揮者賞、最優秀伴奏者賞を獲得されたみなさん、おめでとうございます。惜しくも目標を達成できなかったクラス、指揮者、伴奏者のみなさんも結果だけに目を向けず、それに向かって取り組んできたことやがんばったことに目を向けみててください。やってきたことに嘘は無く、誠実に向き合って取り組んできた足跡があるはずです。それらはきっと自分の大きな力となります。伴奏者のみなさんは夏休み前から練習に励み、発表してくれました。クラスのためにたくさん努力をしていただいて本当にありがとうございました。指揮者のみなさんも曲調に応じてタクトを振るうことの難しさや楽しさを感じることができたと思います。本当にありがとうございました。そしてクラスの合唱は各クラスの責任者のみなさんの指示のおかげで練習に取り組めて、仕上がったと思います。最後まで自分の役割を全うしてくれた責任者のみなさんも本当にありがとうございました。

合唱は、ただ単純に声を出すだけでは無く、それをハーモニーにするということが大事で、一人だけ頑張れば良いのでは無く、全員の声を束にして集団の力として見せることが出来ます。カラオケでもありません。これからどんなに時代が変わっても、一つの作品・曲をクラス全員で、自分たちの“声”で仕上げていく中学生の合唱の良さというのは絶対に変わらないと思います。人とのつながり、絆は大きな感動を起こします。野田中学校はまた一つ新たに進化していくことを確信しています。

歌劇座の舞台では一人一人が輝きを放っていました。合唱祭までの校内には音楽の授業から聞こえてくる歌声や昼休みと放課後の合唱練習で校舎内がみなさんの合唱で溢れていました。私は廊下でそれぞれの教室から溢れてくる歌声を聞いたり、練習に取り組む真剣なまなざしを見るのが大好きでした。とても幸せな日々をありがとうございました。あの直向きに合唱に向き合っていた頃が懐かしく、少しの寂しさも感じます。感動と笑顔あふれる日々、合唱祭をありがとうございました。

１１月の生活目標

正しい頭髪、服装をしよう！

校内では名札を確実につけて、ブレザー型制服の長袖ポロシャツは裾を入れます。掃除の時や昼休みの体育館利用時には男子はブレザーを脱ぐ、女子はブレザーと合わせてスカート着用者はスカートを脱ぐという形をとり、なるべく制服が汚れないようにします。脱いだものは自分のロッカーにきれいにたたんで入れておきましょう。

頭髪も前髪が目にかからないようにするとともに、特に髪が長い人はゴムで結んで勉強に支障をきたさないようにしましょう。１１月下旬には最低気温が一桁台に入る日もありそうです。寒い場合は、まずはインナーで調整できるようにしましょう。

カイロの持ち込みについて



気温が低くなると指先を温めるためにカイロを持っていきたいと思う人もいると思います。カイロは持ってきても良い物ですが、取り扱いには気をつけてください。カイロを投げて遊んだりすると破けて中身が噴出することもあります。なんのために持ってきた物なのか今一度よく考えて、自分の物には責任を持ってください。また、カイロのゴミは校内のゴミ箱に捨てないでください。

１１月２０日（金）公開研究発表会



１１月２０日（金）に公開研究発表会が野田中学校で行なわれます。この日は学校外からもたくさんのお客様をお迎えして、みなさんの授業の様子を参観していただきます。みなさんはいつも通り授業に向き合って頑張ると共に、もし休み時間等でお会いすることがあれば爽やかな挨拶が出来ると良いなと思います。来校された方に気持ちよく過ごしてもらえるようにしましょう。

当たり前の事を当たり前にやる

１０月１５日（木）に名古屋市内のホテルにて、工藤公康（くどう　きみやす）さんが中日ドラゴンズの監督就任会見を行いました。工藤さんは愛工大名電高校卒業後、プロ野球に入り、たくさんの優勝経験をされ、現役引退後も監督としても優勝を何度もし、優勝請負人とも言われています。中日ドラゴンズは近年、成績が低迷し、立て直しを図るため、工藤さんの監督就任となりました。

強いチームの共通点について報道陣から問われた際、工藤さんは以下のように答えられました。

「まず一つは当たり前を当たり前にできるかどうかです。基本を大切にすることだったり、一つ一つのプレーを大切にする、全力で取り組むということです。当たり前と言われていることを当たり前にできるかどうか」

プロ野球の世界でも基本を大切にするということ、全力で取り組むということ、簡単なようで難しいものです。でも難しそうで、誰でもできることだったりもします。ひまわり祭「団結」、ひまわり祭「絆」という大きな学校行事を終えて、いよいよ来年のために動き出さないといけないこともあると思います。特に３年生は１５の春に向けて取り組んでいかなければいけません。授業を集中して受けることは当たり前、自分も友達も大切にすることは当たり前、気持ちの良いあいさつをすることは当たり前、、、当たり前の基準をほんの少し上げて、みんなが安心して、安全に過ごせる学校を目指し、強さとしなやかさを兼ね備えた野田中学校を創り上げていきましょう。

２０２６年も残すところあと２ヶ月！？



時間が経つのはあっという間で、今年（２０２６年）も残りあと２ヶ月です。年齢を重ねるごとに時間が経つのが早く感じます。日を追うごとにみなさんの成長を間近に感じることができて、改めて教職の素晴らしさと、日々の幸せを感じています。

さて、今年中にやろうと思っていて中途半端な状態のままのものはありませんか？また、やろうと思っていていまだにやっていない、手をつけていないことはありませんか？この残り２ヶ月の間にできることをやりませんか？思い立ったが吉日です。自分のことに取り組むことはもちろんですが、家族の一員として家の手伝いなども自ら進んでできると良いと思います。